

活動発表し、充実誓う

児童生徒ら7団体、14個人も表彰

家庭や地域の教育力の向上を目的に、平成20年度の村教育振興運動実践報告会(同運動推進委員会など主催)が2月7日、役場で開かれ、表彰や各実践区で取り組んだ地域ぐるみの活動などが発表され、さらなる運動の充実を誓い合いました。

謝状の贈呈が行われ、道合多喜夫教育委員長が4人に表彰状などを手渡ししました。村教育振興運動推進委員会表彰(森田幸一委員長)では全国や県、久慈地区での作文コンクール、各種スポーツなどで活躍した7団体、10個人を紹介し、表彰しました。

講演では「学校統合に伴う教育振興運動組織のあり方」と題し、県立大野高校講師の阿部俊夫さんが統合後の活動例として洋野町や二戸市での例を挙げ「普代村の場合は、統合後も普代・堀内・黒崎の3実践区での活動がよいのではないか」と提案しました。

黒崎小学区の実践発表では、同校PTA副会長の金子一好さんが、防犯活動や花いっぱい運動、漁業体験や祖父母交流会など特色ある活動を紹介しました。



約70人が出席し、地域での活動などが発表されました

◆村教育委員会表彰

▽三船隆久 平成4年5月、村体育指導委員となり、各種体育事業の運営やスポーツ推進に尽力し、社会体育の振興に多大な貢献をした▽片座憲一 昭和57年4月、村体育指導委員となり、各種体育行事の運営やスポーツ推進に尽力し、社会体育の振興に多大な貢献をした▽松葉沙織 (光星学院高校2年) 第2回東北高等学校春季選手権大会などのソフトテニス競技で輝かしい成績を残している

◆村教育委員会感謝状

▽日向良介 平成18年10月に普代小学校スクールガード結成以来、登下校の見守り活動、また交通ルールやマナーについての指導、あいさつ運動など子どもの健全育成に寄与している

◆教育振興運動推進委員会表彰

▽普代小PTA広報部 平成20年度第30回全国PTA広報誌コンクール奨励賞▽普代小(代表・4年砂子永遠) 水生生物による水質調査で岩手県知事より感謝状▽中村駿人(普中3年) 平成20年度第33回「こはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクールで岩手県教育長賞、同全国コンクール優秀賞▽太田綾華(同) 平成20年度中学生入

活躍した人の紹介



本年度、スポーツ・文化活動で活躍した人たちを表彰

権作文コンテスト岩手県大会優秀賞(岩手県人権擁護委員連合会長賞)▽普代中吹奏楽部(代表・澤田奈津季) 平成20年度アンサンブルコンテスト久慈地区大会金賞、同岩手県大会金賞▽普代中野球部(代表・中居幹) 平成20年度岩手県少年軟式野球大会兼

全日本軟式野球大会下閉伊北部予選大会優勝▽普代中ソフトボール部(代表・赤坂千夏) 平成20年度久慈地区中学校新人大会優勝▽普代中バドミントン部(代表・落合勇樹) 平成20年度第46回久慈地区中学校総合体育大会バドミントン競技優勝▽普代中バドミントン部(代表・三船祥生) 平成20年度久慈地区中学校新人大会バドミントン競技優勝▽三船和輝(普代中3年) 平成20年度第46回久慈地区中学校総合体育大会バドミントン競技シングルス優勝▽横田裕紀(同2年)・高屋敷昇(同) 同個人戦ダブルス 優勝▽越戸菜摘(同3年)・前川千加子(同) 平成20年度第46回久慈地区中学校総合体育大会ソフトテニス競技個人戦優勝▽落合勇樹(同) 平成20年度久慈地区中学校通信陸上、久慈地区中学校陸上競技大会共通砲丸投優勝 (敬称略)

設置はまだ？ 火災警報器

洋野町では、警報器が威力を発揮



警報機の設置で留守中の火災を免れた新聞記事

皆さんの左の写真の記事をご覧になりましたか。

3月2日の岩手日報に掲載された記事ですが、内容

は次の通りでした。

洋野町で留守中の民家を訪れた人が、玄関先で屋内の住宅用火災警報器の音に気付いて消火に当たり、初期消火で大きな火災を免れた——という

村の設置率は65%

久慈広域連合消防本部では、平成20年6月から一般家庭での火災警報器の設置を義務化しました。今年2月末現在の村全域での設置率は65%。27%だった昨年と同時期に比べ、4割近く増えています。久慈消防署



「早期の設置を」と呼び掛ける中居普代分署長

普代分署の中居昇所長は「全国的にガスコンロなどで調理しているときのちよつとした間の火事が多いです。火事を初期で食い止めるためにも、まだ、設置していないご家庭は、早めに取り付けてください」と話していました。

警報器は村内の電気店、またはホームセンターなどで1台3千円〜6千円ほどで購入できます。ブザーのほか「火事です」などの音声や光で知らせられるものも



左が「煙式」、右が「熱式」

あります。また、取り付けなどが分からない場合は、取り扱い店、または普代分署にご相談ください。空気が乾燥し、火災が相次ぐ時季。住宅火災の被害を最小限に食い止める対策の一つが、住宅用火災警報器です。最悪、命にかかわることもあります。まずは、早めの設置でいざというときの安全を確保しましょう。

佐々木トクエさん 元気に100歳

親族招き、うねとり荘で祝う会



100歳の誕生日を迎えた佐々木トクエさん

2月22日に百歳の誕生日を迎えた佐々木トクエさん(鳥居)の長寿を祝う会が同日、特別養護老人ホーム「うねとり荘」(宇部)で開かれました。佐々木さんは、田野畑村出身で明治42

年(1909)年生まれ。祝う会には、親族の皆さんをはじめ、普代福祉会の野崎幸太郎理事長、榎屋伸夫副村長も駆け付け、お祝いの言葉や長寿の証、手形をかたどった記念色紙、花束をそれぞれが佐々木さんに手渡しました。同荘職員が「おめでとございませう」と声を掛けると、佐々木さんは笑顔を見せ「ありがとうございませう」とはつきり答えていました。

軽タイプ防災活動車お目見え



財団法人日本消防協会からこのほど村に、

役場正面玄関で車両は引き渡されました。軽タイプ防災活動車1台が寄贈され、村では村消防団に貸与しました。貸与式は2月19日、役場正面玄関で行われ、消防関係者ら12人が出席。深渡宏村長は小屋敷亮二郎消防団長に、貸与証を手渡し、車両を引き渡しました。小屋敷団長は「有事の際、活用させていただきます」と決意していました。